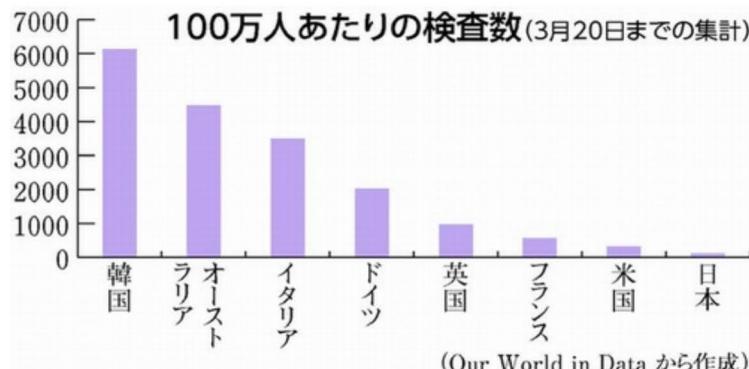


No.423 2020年4月12日(月1回発行)

marusin@mbn.nifty.com



新型コロナウイルスによる感染が急激に拡大しています。いま必要なことは、外出自粛などを躊躇なく行なうための補償と、医療現場への緊急の支援です。政府や自治体が外出やイベントを控えるよう自粛を要請していますが、感染拡大を抑えるためには必要な措置です。しかしそれによって商店や劇団、音楽家などの収入は激減します。労働者も企業の操業が縮小されれば、自宅待機などで給料が減らされます。これを補償してこそ、ためらいなく自粛できるようになります。感染拡大を防ぐことができます。

1回だけの支給では生活を支えることはできません。収束の目途が立つまで継続して補償を実施すべきです。

ヨーロッパ諸国の 補償は現金支給

検査拡大とベッド や資機材の確保を

イギリスでは、労働者・自営業者・フリーランスにたいして所得の8割、1カ月で最大33万円を補償しています。

フランスは労働者にたいして賃金の10割補償。ドイツは、10人までの小規模事業者の場合180万円を一括支給、5人以下や自営業・フリーランスなどには110万円を一括現金で給付しています。これらは文化や芸術分野のアーティストにも適用されます。

日本では政府がやつと、自粛要請で収入が減った場合に1世帯30万円を1回だけ支給することにしました。しかし、世帯人数の違いを考えば一人当たりの金額での支給が妥当です。また一刻も早く届けるためには条件を付けず一律に給付にして、高額所得者にたいしては後日、税をかける方が合理的。さらに

1回だけの支給では生活を支えることはできません。収束の目途が立つまで継続して補償を実施すべきです。

「帰国者・接触者相談センター」に相談して「帰国者・接触者外来」に行くことになりますが、ここにハードルがあります。政府は医師が必要と判断すれば検査できるようにす

ると言っていますが、実態はそうなっています。1日で8000人分検査できるといふのに、実際は1300人ほど。重篤化を防ぐためにもこ

うなっています。政府は医師が必要と判断すれば検査できるようにす

自粛にふさわしい補償と医療体制強化が急務

新型コロナウイルスによる感染拡大

第二に重症者が増えた場合を想定したベッドの確保です。それにはベッドを空けておいたときの病院の収入減を補償する必要があります。これに見合った財政措置を実施してこそ病院はベッドを空けてお

くことができます。

丸山慎一

活動日誌



学校休校で牛乳メーカーに打撃 営業と品質を維持するためにも補償必要

日本共産党西部地区委員会が3月31日、八千代牛乳

組合)と懇談しました。

八千代牛乳は県内北西部の学校などに牛乳を提供し

いるので何とかしてほしい」と訴えました。

八千代牛乳では、生産者が牛の飼の安全性にこだわり経費をかけて製造していることや、大手メーカーが学校給食から撤退しても中小メーカーが支えて

いることなどを強調。同席した配達業者も「なんとかドライバーを確保して復活を待っているがかなり苦し

い。みんな子どもたちのために誇りを持って働いていい。みんなで支えてほしい」と話

発行

3・1 高根台地域を訪問／津田沼駅で新型コロナ対策緊急宣伝

3・2 後援会の会議砂崩れ現場を調査

3・3 習志野市の土砂崩れ現場を調査

3・4 船橋革新懇会議／行革中止宣伝／治安維持同盟支部会議

3・5 行革中止宣伝

3・6 北総線関係者懇談／新型コロナ対策

3・7 党県委総会

3・8 県道危険調査

3・9 地区常任委員会

3・10 防衛省にオスプレイ配備撤回要請

3・11 国へ署名提出

3・12 船橋駅昼夜休み宣伝／薬円台訪問

3・13 重税反対船橋

3・14 ベンディング2周年領講座／行革中止会議

3・15 行動／國保よくする会

3・16 地区常任委員会對市要請／船橋駅南口

3・17 芝山地域訪問

3・18 津田沼駅宣伝

3・19 県住の調査

3・20 薬円台訪問／國保よくする会宣伝／

3・21 二和地域訪問

3・22 安倍退陣スター

3・23 安倍退陣スター

3・24 ディング行動

3・25 NPO開取り

3・26 志位和夫委員長との懇談企画

3・27 前原東支部国

3・28 高根台・行田

3・29 高根台話聞く

3・30 地区常任委員会

3・31 八千代牛乳と懇談